# We Can 新聞

H29. 4. 18 第1号

啓新高校男子ソフトボール部は、創部して５年目のシーズンを向かえています。チームとしては、まだ全国大会で最高ベスト８という記録しか残せていませんが、なんとしてでも福井国体で優勝できるように、チーム全員で努力を重ねているところです。

さて、今月から啓新高校男子ソフトボール部発「ＷｅＣａｎ新聞」を発行していきます。目的は、「ソフトボール競技の普及のため」です。私たちの活動や取り組み、考え方などを、多くの方々に知っていただくことによって、ソフトボールの発展につながっていければいいなと考えております。こんなことで、なぜ発展？普及につながるの？という声もあるかもしれませんが、なにもしなかったから、なにも起こらない！無駄と思われていたことがいつの日か輝きのスタートであったと言われるかもしれない！そんな可能性に挑戦していきたいです！

**「We Can」**

啓新ソフトボール部では、練習前や試合前に必ず行うことがあります。それは、監督と選手全員で円陣を組み、

「Ｗｅ Ｃａｎ Ｗｅ Ｃａｎ Ｗｅ Ｃａｎ １・２・３ Ｗｏｏｏｏ！」

と叫びます。

Ｗｅ Ｃａｎとは、「オレたちはできる」という意味です。自分を信じ仲間を信じる！目標を達成する。夢は叶う！ダメな人間は自分で限界を決め、できると言う。我々はできる！

これはチームのルーティンとなっています！

## Q＆Aコーナー

### 今月の選手

**大西　泰河**　啓新高校２年生
・投手
・本郷出身
・好きなプロ野球選手
日本ハムファイターズ　平沼選手

Ｑ　好きな言葉は何ですか？

Ａ　「我慢」です。自分の課題は、マウンド上での立ち振る舞いです。打たれても仲間がエラーしても自分のメンタルがブレないように我慢したいと思います。正直今はまだ「我慢」という言葉は一番嫌いです。しかし、いつの日かこの「我慢」を僕の大切な言葉に変えられるように努力していきたいです。

Ｑ　速いボールを投げるポイントは何だと思いますか？

Ａ　まずは、ブラッシングを安定させることだと思います。下の赤〇のように前腕を大腿四頭筋の側筋に当ててボールを放つ運動動作をブラッシングと言いますが、人それぞれ当たるポイントは違うと思います。ただ当て過ぎず当たらな過ぎずの具合を安定させることが大事です。次にリリースの時にボールをしっかりと押す事も重要です。だいたいの人はオーバースローの時に人差し指と中指でボールを押し出す感覚があると思います。ウィンドミルの時も同じように、この二本の指でボールを最後まで押し出さなければスピードは出ません。

Ｑ　ソフトボールをしている子供たちへ一言お願いします。

Ａ　僕は小学校の時にソフトボールをしていましたが中学校では野球をしました。野球には野球の楽しさがあってソフトにはソフトの魅力があります。ソフトボールをもう一度やりたくて高校ではソフトボールを選びました。スポーツの中で格好悪いというスポーツは絶対にありません。自分がやっているスポーツに誇りをもって№１を取れるよう頑張ってください。

啓新高校男子ソフトボール部監督の山崎です。啓新高校男子ソフトボール部は来年の福井国体での少年種別強化のために５年前に創部いたしました。当然目標は福井国体優勝です。ただ、本当に大切な事は、福井国体を機にソフトボール競技を発展させていくことにあると感じています。ソフトボールは生涯スポーツの側面もあり福井県内での競技人口はとても多いです。しかし年々チーム数は減少しているのが現状です。様々な事柄が時代のニーズに合った形に変化していくことは当然のことですが、後世に我々の魂を残していきたいと考えます。